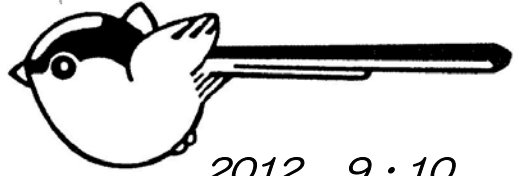


森の新聞

日本野鳥の会広島県支部



2012. 9・10

No. **182**

http://homepage3.nifty.com/wbsj_hiroshima/index.html



9月

- 1(土) 連絡会(18時半～)
- 2(日) 松永湾探鳥会(福山市)
- 8(土) 八幡川探鳥会(広島市)
- 9(日) 広島城探鳥会(広島市)
- 22(祝) 佐伯区運動公園探鳥会(広島市)
- 23(日) 新山探鳥会(世羅町)

10月

- 6(土) 連絡会(18時半～)
- 7(日) 葉田竜王山探鳥会(三原市)
- ” 可愛川探鳥会(安芸高田市)
- 21(日) 八幡川探鳥会(広島市)
- 28(日) 南岩国探鳥会(岩国市)

第14回人工干潟造成検討会出席報告

唐突な印象をもたれる方もあると思います。4年間開かれなかった広島県が開催する人工干潟造成検討会が開かれ委員として出席したので報告します。

今回の検討会には、これからの八幡川近辺の環境の行く末に重要な項目である今後の人工干潟の維持管理、野鳥園の配置計画案、八幡川橋下流側橋梁計画などについて方針が表明されました。それらに対し、一緒に出席した支部長ともども意見を述べてきました。

広島県の担当者とは、4年間の間に支部役員の堀江さんが接触を持ち良好な意思疎通がはかられて来ました。しかし今年4月に振興事務所の工務課長、係長、主任が一斉に交代され、今まで進行してきた計画がそのとおりに進展していくのか不安を感じていました。再び委員会が開かれ計画当事者の方々と接触が出来て28年の間に14回重ねられた検討会の積み重ねを感じ、今回の検討会の後半ではお互いの思いが通じあうまで意見交換ができた感触を得ました。互いの思いをこの干潟や関連設備に込めて、未来に残る広島県を代表するものとなるよう今後も努めて行きたいと思いました。

<会議について>

日 時 平成24年7月5日（木）16時から17時半

場 所 広島港湾振興事務所（広島市南区宇品海岸）

出席者 検討委員（広島大学・干潟生物の専門家）、支部長、日比野の3名
広島県から奥迫自然環境課長、廣広港湾整備G主査、福原振興事務所長の3名

※なお、検討会に先だって、関係者一同で小雨の降る中H22年に完工した干潟造成Ⅱ期工事の状況を視察見学。

<会議の具体的な内容>

1. 人工干潟の進捗と調査結果

22年に完工した第Ⅱ期造成結果は、非常に良好で、第Ⅰ期の反省を踏まえた汀線を多くする設計と、沈下を考慮した設計が有効で、干潟の生物は人工干潟の底部で順調に生息し、鳥類は干潟面積の増大とともに、干潟を利用するシギチドリ類が多数利用するなど有効に機能しているとの報告があった。

2. 人の利用実態

この人工干潟は、鳥のために造成された干潟であることが想像以上に周知され利用者の感想も良好なものであることが報告された。

3. 今後の維持管理のしかた

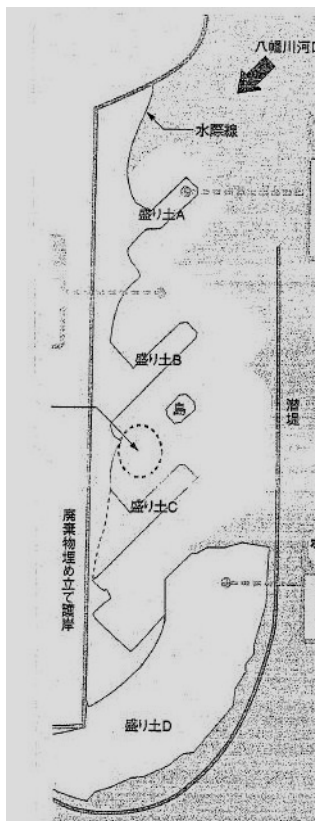
維持管理の方向性として、民を主体にした形で進めたいとの意向が示された。但し人工干潟は、構造上第Ⅰ期ほどではないが一定割合で緩やかに沈下していくことが想定されるため、干潟のハード部分は広島県が維持する。

□沈下の状況：

人工干潟の汀は北から A, B, C, D (岩) となっている。

AはH15年完工、B, CはH22年完工のように順次工事をした。両方とも同じ基準面から3mの高さに工事されたが、完工年差が7年ある。7年間の沈下は、A部分がBC部分に比べ干潮時に干出する面積が少なく水面下にある時間も長いことから確認できる。

他に、人工干潟の形状に影響を及ぼすものとして八幡川上流からの土砂の補給がBCの部分よりAの部分が多いことが考えられ、また波の影響による砂の持ち去りはBC部分の方がA部分より多いと考えられる。



4. 野鳥園計画案

野鳥園の基本形状を修正することを前任の振興事務所当事者と合意を得ていたものを再確認した。当初面積の7.5Haを維持するものの当初の矩形から長方形とし、長方形の北側に緩衝地帯を隣接させる形状である。

今回の検討会でも野鳥園建設の日程は明確にされなかった。今後、野鳥園設計が具体化した際に、野鳥の会が把握している全国の野鳥園建設先行事例の知見を提供して行く予定である。

現在、野鳥園が建設されていない八幡川河口埋立地に必要なことは、八幡川を代表する野鳥であるカモ類が安心して生息できるだけの面積のある水面を確保することを中心に、現在の環境を維持・改良し人工干潟の後背地の役割を機能させる事であることをアピールした。なぜなら限られた7.5Haの面積の中に多様な環境を作り込んでも、八幡川を訪れる多様な種類の野鳥が全て安心して生息する場所とはならないことが想像されるからである。

なお、広島港湾振興事務所では埋立地の水質を海と導水管を通じ浄化する計画中であること。さらに、新八幡川橋の下流側に新たに橋梁を架橋する計画が示された。

(日比野政彦)

「野の鳥は野に」

本紙179号(2012.3・4月号)でお伝えした通り、本年4月より野鳥の愛玩飼養が全面的に禁止されました。このことで、「法律的」には日本野鳥の会の創設者・中西悟堂の提唱した「野の鳥は野に」が実現したと考えられます。

しかし、実際には「違法に野鳥たちを飼育するもの」「そのための捕獲(密猟)を行うもの」等が変わらず存在しているのも現実です。

今回、わが支部会員で、広島県鳥獣保護員を務めておられる方々から最近の活動状況のご報告をいただきました。野鳥たちの置かれている現実の一端をご覧ください。

■警察から依頼を受けた野鳥鑑定 実施状況

東部方面の警察署

- | | | |
|-------------|---|-----------|
| ①2010年4月20日 | メジロ8羽 | (違法飼養) |
| ②2010年5月10日 | ホオジロ2羽 | (違法飼養) |
| ③2010年6月7日 | メジロ1羽 | (違法飼養) |
| ④2010年7月1日 | オオルリ1羽, メジロ7羽 | (密猟・違法飼養) |
| ⑤2010年7月22日 | メジロ1羽 | (違法飼養) |
| ⑥2010年7月26日 | ホオジロ2羽, ヤマガラ1羽 | (違法飼養) |
| ⑦2010年8月4日 | メジロ14羽 | (違法飼養) |
| ⑧2010年8月6日 | メジロ3羽 | (違法飼養) |
| ⑨2010年10月6日 | メジロ4羽 | (違法飼養) |
| ⑩2011年1月12日 | メジロ1羽 | (違法飼養) |
| ⑪2011年11月9日 | メジロ1羽 | (違法飼養) |
| ⑫2012年3月17日 | メジロ1羽 | (違法飼養) |
| ⑬2012年5月28日 | メジロ2羽 | (違法飼養) |
| ⑭2012年6月19日 | メジロ21羽, ウグイス2羽, ホオジロ1羽, エナガ1羽, オオルリ1羽, コマドリ3羽, クロジ1羽, | (違法飼養) |

南部方面の警察署

- | | | |
|-------------|-------|--------|
| ①2011年2月22日 | メジロ1羽 | (違法飼養) |
| ②2012年6月3日 | メジロ7羽 | (違法飼養) |
| ③2012年7月16日 | メジロ4羽 | (違法飼養) |

西部方面の警察署

- | | | |
|--------------|--|--------|
| ①2010年2月11日 | ヤマガラ1羽 | (違法飼養) |
| ②2011年10月18日 | ウグイス1羽, ホオジロ2羽, キビタキ2羽, ヒガラ4羽, ミヤマホオジロ1羽 | (違法飼養) |
| ③2012年5月5日 | メジロ5羽, ヤマガラ1羽 | (違法飼養) |
| ④2012年6月6日 | メジロ35羽, オオルリ2羽 | (違法飼養) |

- 「リスト」から鳥獣保護員さん達の多忙ぶりが読みとれます。
また、下に掲載する写真も併せてご覧いただければ、まだまだ野鳥達と私達が、「安心」
していて良いような状況…ではないことが明らかです。
- 「野の鳥は野に」の実現と、鳥獣保護員さん達に「暇じゃのお〜〜〜」と大あくび
をさせていただけるような日の来ることを願い、野鳥を愛し保護する機運を高め
るための支部活動をこれからも地道に続けて行きたいものです。



上の2枚の写真は、県東部における「オオルリの密猟現場」④の写真です。
「鳥モチ」が巻かれた棒には、ご丁寧に自作のオオルリ雄の剥製まで付けてあり、鳥籠の中には
「おとり」のオオルリ雄が入られ、写真には見えませんが、鳥籠が取り付けられた枝の裏には、
オオルリを誘因するカセットテープレコーダーが取り付けられていたそうです。



※左は、「④」の鑑定中のコマドリ雄
狭い鳥籠で飼養されていたので、羽根はボロボ
ロになっています。この個体は、渡りの時に県内
で密猟されたものですが、鑑定中に「ヒンカララ
ラ」と鳴いていたそうです。(T_T)

- 現在広島県では、3名の支部会員が県の鳥獣保護員としてご活躍中です。今回、紙面に収
まりきれない程の情報を提供いただいています。今後も引き続き、そのお仕事の状況につい
てお話をうかがい、紙面にて報告させていただきます。 (光本)

回覧板です！②

<会員 活動報告>

小学校の先生を対象に 野鳥研修を実施！

本年6月下旬に小学校から支部に依頼があり、小学校が夏休みの週日の午後の時間に都合がとれる会員にお願いして、野鳥研修の講師をご担当いただきました。

- 1、実施日 2012年8月9日(木) 13:30~16:00
- 2、場所 安芸郡内小学校
- 3、対象 教職員(校長先生他十数名)
- 4、内容 野鳥及び野鳥観察から総合学習に反映する工夫など
- 5、講師 日比野さん 大西さん 吉岡さん

以下は、ご担当いただいた大西さんからのご報告です。

- 学校は広島駅からさほど遠くなく、正門前には小川が流れ、四方は雑木林に囲まれていて、普段から鳥を良く見かけるとのこと。その環境に注目して総合学習の時間で3学年が木々の観察を行っているが、今後は鳥の観察も加えて自然を広く見渡し、生態系への勉強までたどり着きたいとの希望を持たれていた。
- その為に、夏休みを利用して教職員がいろいろと自然観察研修会を計画され、既に川や池に入り底生生物調査の研修も実施されている。
- 当日は会員3名が訪問し、
 - ①野鳥に関する一般的な知識
 - ②写真を利用して身近な野鳥を紹介
 - ③児童に野鳥への関心を持たせる方法、野鳥観察の方法、データの取り方など工夫の仕方の三部構成で研修を行った。
- 当初2時間の予定であったが、時間のゆとりがあるということで30分延長し2時間半の研修会になった。できることならフィールドに出て実地で野鳥観察の体験もしていただきたいと考えていたが、時期的にも時間帯としても観察は無理と判断し、残念ながら省略した。
- 校長先生はじめ教職員の方々が今後具体的な目標を持っておられることから、この研修会を単なる研修会に終わらせず、さらに発展させて児童の学習指導に役立ててくださることを確信した。

教育機関等との連携は、支部として今後も積極的に取り組むべき活動です。講師派遣や資料提供等の依頼がありましたら、是非支部までお問い合わせください。また、会員の皆さまの活躍の場にもなりますので、講師依頼などへのご協力もよろしく申し上げます。(光本)



図書館だより

【寄贈本】

「鳥類地方書集成 地域別鳥類文献目録 2012年5月」

調査 早川貞臣・恵子 絵 早川恵子 編集・発行・寄贈 早川貞臣 A4判
820頁+20頁(明治以降～1970年頃 地域文献に属さない和文図書の730点の目録)

定年後、8年以上かけて全国の個人と施設621を延べ1,209日、当館にもご訪問。調査した
地方文献は13,142点。常に同行された恵子夫人の挿絵が感動的。

「第19回野鳥密猟問題シンポジウム近畿大会 inおおさか2011年報告書」

密対連編集・発行・寄贈 A4版 81頁

中村桂子事務局長のまえがきより(一部のみ)ー今回が最後の全国大会ということで、カ
スミ網の時代から一緒に活動してきた仲間達が多く集まった。長かったようでアツとい
うにも感じる20年。各地で軸となって活動に関わってくださる方々には本当に感謝の思いで
一杯です。全国各地で頑張ってもらえる小さな力を結集し、急がず、休まず・今後も密猟問
題に取り組んでいきたいと思っています。各地の情報をお知らせください。

【購入本】

「外来鳥ハンドブック」

川上和人・文 叶内拓哉・写真 文一総合出版 新書版 80頁

アヒル・アホウドリ・アメリカオシントリ・クジャクーコウトリ・コウライシジメーソウシチョウ・メジロ・ヤマトトリ・ヤマシメ 61種
弥生時代ニトリ 598年カサギ 平安時代トバト 室町時代アヒル 江戸時代シラコバト・コウライシ
外来鳥は人為的活動にともなって、自然な生息地以外で野生化している。外来鳥の複雑な
現状を学び、影響一何がそんなに罪なのか？ 写真や日本での分布図、移入経緯などの
豊富な情報から示唆に富む本です。

「ツバメ」

神山和夫・渡辺仁・文 佐藤信敏・写真 農山漁業文化協会発行 A5判 56頁

ツバメにまつわる23のテーマについて300枚以上の写真で徹底解説。田んぼいきものた
ちシリーズの児童書だが、内容は大人をも唸らせ、なかなか専門的。資料編も実際に役た
ち充実。

探鳥会のご案内

- ◇探鳥会には、会員・非会員の別なく参加いただけます。
- ◇参加の事前申し込みは不要です。案内に記載された「集合場所」にお集まりください。
- ◇雨天の場合は中止です。
- ◇参加費は200円です。(中学生以下、無料)
- ◇小学生以下の参加は、保護者同伴をお願いします。
- ◇自然観察では「やさしいきもち」を励行し、自然へのローインパクトを心がけましょう。

◆記載内容

- ①集合時間
- ②集合場所
- ③解散予定
- ④コース内容
- ⑤観察可能種
- ⑥その他
- ⑦担当者 (TEL)

9月・10月のフィールドは、大賑わい!

- 貴重な干潟や湿地を渡っていくシギ・チドリ類
- 大空を雄大に舞う猛禽類の渡り
- 一時的に通過していく旅の小鳥たち
- 混群の留鳥たちとの遭遇
- 越冬のために飛来する冬鳥との再会.....等々

テーマも多様で、初心者の野鳥観察入門には絶好の時期です。
楽しく野鳥観察・自然観察を楽しみましょう!

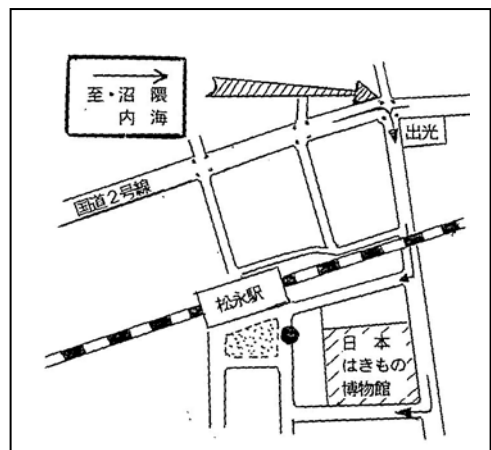
●秋の渡りが始まるよ パート2

No.1829 松永湾探鳥会 9/2 (日)

県東部最大の干潟・松永湾で、渡り途中のシギ・チドリ類を観察しましょう!

地味でとっつきにくいと思われがちなしギチドリ。じっくり観察するとその奥深い世界に引き込まれ、きっとあなたもシギチフリークー直線。入門には絶好の探鳥会です。(福山市)

- ①9:00
- ②JR松永駅南口
- ③12:00
- ④車に分乗し観察地を移動しながら観察(貯木場・藤井川河口など)
- ⑤ハマシギ・ソリハシシギなどのシギチドリ類、サギ類 他



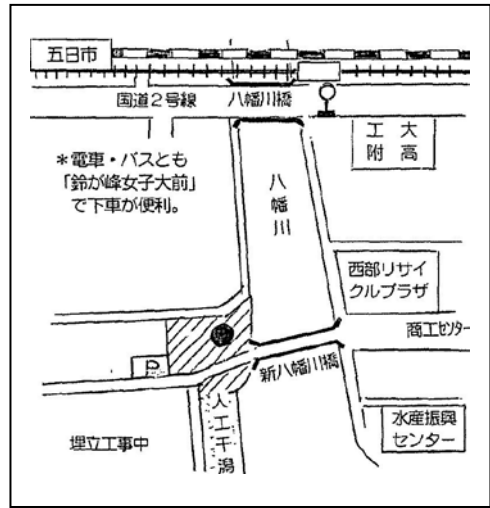
- ⑥暑さ対策を万全に。探鳥会中の車への分乗にご協力ください。
- ⑦渡辺

●秋の渡りが始まるよ パート3

No. 1830 八幡川探鳥会 9/8(土)

広島市近郊でのシギ・チドリの観察会です。八幡川河口や人工干潟、埋立地内にわずかに残された水辺にその姿を探します。(広島市佐伯区)

- ①9:30 雨天決行
- ②みずとりの浜公園東端のベンチ周辺
- ③12:00 ④埋立地内道路を徒歩で観察(4km)
- ⑤トウネン・アオアシシギなどのシギ・チドリ類、水辺にサギ類や気の早いコガモ等々
- ⑥日蔭の全く無い観察地です。帽子など暑さ対策を万全に。販売機は皆無。飲料必携です。
- ⑦日比野



●都市部の公園で野鳥観察

No. 1831 広島城探鳥会 9/9(日)

広島市中心部の広島城公園に生息する小鳥を観察する探鳥会です。運が良ければ移動途中の夏鳥や旅鳥を観察できるかもしれません。(広島市中区)

- ①9:00 ②広島城内、護国神社売店前
- ③11:00
- ④広島城址公園を徒歩でゆっくり観察
- ⑤カワラヒワ・シジュウカラ等の留鳥 他
- ⑥城内の駐車場は利用できません。
- ⑦高橋

●今年もハチクマを見送りましょう パート1

No. 1832 佐伯区運動公園探鳥会 9/22(土)

広島市西部の見晴しの良い高台から、猛禽類の壮大な渡りを観察しましょう。(広島市佐伯区)

- ①9:00 ②運動公園の上に位置する駐車場
- ③11:00 ④公園からの定点観察
- ⑤ハチクマ等猛禽類の渡り エゾビタキ等の小鳥類
- ⑥午後も観察される方は弁当持参
- ⑦高橋

■観察地は、広島市植物公園の北西に位置しています。車の方は2号線バイパス波出石交差点の西隣の信号を右折すると標識が出ています。観察地は公園最上部ですので、公園に入らず、正門前から左に折れ、道なりに登ってください。

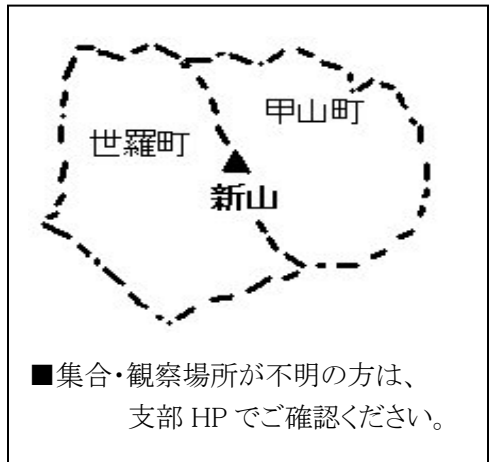
●今年もハチクマを見送りましょう パート2

No. 1833 新山探鳥会 9/23 (日)

内陸部を渡っていくハチクマを見送る観察会です。
今年もきっと感動的な渡りが見られることでしょう。

(世羅町)

- ①9:00 ②「シャンテパーク新山」集合 ③自由
④定点観測 ⑤ハチクマなど猛禽類の渡り 他
⑥担当者は早朝から一日中現地にいますので、
ご都合の良い時間に集合・解散、OKです。
⑦内海



●のんびり 川辺をウォッチング

No. 1834 可愛川探鳥会 10/7 (日)

旧吉田町の可愛川(えのかわ)沿いに歩くハイキング探鳥会です。モズの高鳴きに秋の訪れを感じながら、豊かな川辺の自然を楽しみましょう。

(安芸高田市)

- ①9:50 ②広電バス吉田出張所 ③14:00
④集合地から車で移動し、川沿いを徒歩で探鳥。
コース途中で昼食を取ります。

■広島方面からは広電バスで
バスセンター8:15 →横川駅 8:20
→ 9:46 吉田出張所

■集合地からの移動と帰途時に、
車への分乗にご協力ください

- ⑤カワセミ・ノビタキ・セキレイ類 等
⑥弁当をご持参ください。
⑦出口義

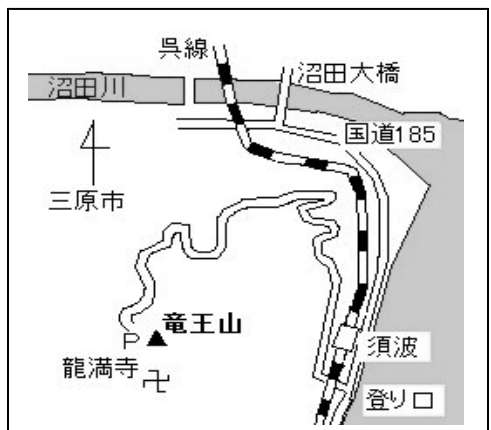
●今年もサシバを見送りましょう

No. 1835 葉田竜王山探鳥会 10/7 (日)

竜王山の山頂(445m)で、眼下に広がる瀬戸内の絶景を眺めながら、サシバの渡りを観察しましょう。

(三原市)

- ①9:00 ②三原市中央公民館駐車場に集合。
観察地がわかる方は先行も可。③解散は随時
④山頂の展望台から定点で観察 ⑤上空にサシバ等猛禽類、観察地周辺でシジュウカラ・エナガ等の小鳥類 他



- ⑥午後も観察される方はお弁当を。
展望台には屋根もあり座る場所もありますが、アウトドア用の椅子を持参されると楽に観察できます。

- ⑦三好

● 河口の水鳥ウォッチング

No. 1836 八幡川探鳥会 10/21 (日)

いよいよ冬鳥観察の本番に突入です。
八幡川の河口や人工干潟、埋立地内の水辺に、
沢山のカモ類やカモメ類が帰ってきました。再会
を祝いながらゆっくり観察しましょう。

(広島市佐伯区)

- ①9:30 ②みずとりの浜公園東端のベンチ周辺
③12:00 ④埋立地内道路を徒歩で観察(4km)

⑤マガモ・ヒドリガモ等のカモ類、
ウミネコ・セグロカモメ等のカモメ類、
シギチドリ類・サギ類・セキレイ類などで
約 50 種が期待できます。

⑥飲料必携。雨天決行。

⑦日比野

● 蓮田のシギチ観察会

No. 1837 南岩国探鳥会 10/28 (日)

「オスプレイ」で話題の米軍岩国基地の河口対岸。
南岩国の広大な蓮田で、越冬のために渡ってきた
シギ・チドリ類を観察します。(岩国市)

- ①9:00 ②JR 南岩国駅 ③13:00 ④コース未定
⑤タシギ・オジロトウネン、運が良ければ渡り途中
のシギチドリ類 他 ⑥弁当持参
⑦高橋

■山陽本線でどうぞ。

広島 7:51 → 岩国乗換 →

8:46 南岩国

■ハス田脇の道路は駐車禁止です。
農耕作業者に迷惑をかける駐車を
しないで下さい。



マナーズル

【や・さ・し・い・き・も・ち】

- や 野外活動は無理なく楽しく
さ 採取は控えて、自然はそのままに
し 静かに、そーっと
い 一本道、道からはずれないで
き 気をつけよう、写真、給餌、人への迷惑
も 持って帰ろう、思い出とゴミ
ち 近づかないで、野鳥の巣

※日本野鳥の会の「マナー標語」です

森の新聞に掲載する「探鳥会報告」の寄稿を募集します。
「素晴らしい野鳥との出会い」「楽しかった探鳥会の様子」等を、
是非読者のみなさんにご紹介ください。 ☞ 光本 m_komoto@nifty.com

野鳥情報

受付期間:	I, II	2012/6/4 ~ 2012/7/28
	III	2012/6/10 ~ 2012/8/4
報告者数:	5名	種数: 13種 件数: 20件

※番外 0件を除く。

【広島・呉】 I: 11件 , II: 0件 , III: 5件

イソヒヨドリ	1	4/29	荒木	-
マミチャジナイ	20	4/29	荒木	クロガネモチの木
ハチクマ	1	7/6	西村	-
オシドリ	1	7/8	西村	同地区で繁殖期にエクリプスを見たのははじめて
カルガモ	24	7/10	酒井	大水の出た後、中洲をはさんだ2つの流れに分かれて列をつくり、一団で採餌

【福山・尾三】 I: 0件 , II: 0件 , III: 4件

ソリハシシギ	4	6/11	渡辺	時期的に越夏個体と思われる。4羽のソリハシシギが干潟で採餌
スズメ	40	6/18	渡辺	



公園の一角にある瓦屋根の大型公共施設で、少なくともスズメ10番十が営巣していた。親鳥は雛の給餌に大忙しで、周辺には巣立ち雛も多い。この施設の大きな瓦屋根は、下部に適当な隙間があり、スズメの集団営巣地となっていた。

←スズメの集団営巣(6/18)

皆さんからの
情報を
待っています!



イラスト: わんバグ

【東広島・竹原】 I: 0件 , II: 0件 , III: 0件

【芸北】 I: 0件 , II: 0件 , III: 0件

【備北】 I: 0件 , II: 0件 , III: 0件

- ◆ここに掲載されたものは野鳥情報カードからの抜粋です。無断転載等は固くお断りいたします。
- ◆掲載されたもの全てが必ずしもそのまま公式記録になるわけではありません。ご了承ください。
- ◆野鳥情報カードI・IIは事務所へ郵送、野鳥情報カードIIIはBCL06644@nifty.comへメール添付してお送りください。
- ◆新市町村名が分からない場合は、旧名称で記載してください。

連絡会報告

報告者：日比野

7月連絡会


日時 7月7日(土) 18:45～20:40
出席 福本、井町、光本、倉岡、中崎、
日比野他

1. 人工干潟検討会報告(日比野)
 - ・7月5日(木) 現地見学後港湾振興事務所(宇品)にて開催。支部から支部長と日比野出席。内容は森の新聞で報告
2. 中四国ブロッコ会(日比野)
 - ・7月末締切で募集中。・9月22～23日、四国愛媛県佐多岬権現山でワシタカの渡り観察
3. 広島市中央図書館企画展関連
 - ・野鳥に親しむ企画展9/7～27日
会員の石井さんの写真や書籍を展示
 - ・「身近で見られる広島の野鳥」講座を開催
 - ・中央図書館郷土資料室に過去の森の新聞を寄贈し、今後も送付する。

5. 探鳥会維持(支部長他)
 - ・探鳥会昨年並み維持困難な状況
 - ・支部主要事業は探鳥会の共通認識あり、「誰にもできる探鳥会リーダー養成」をテーマに来年の総会講師として本部安西理事の招聘を企画する。
 - ・次年度市内で定期探鳥会を復活
6. 森の新聞関連
 - ・野鳥情報記事掲載で以下確認(野鳥情報公開基準のレベルを超えて掲載することあり)

8月連絡会

日時 8月11日(土) 18:35～20:30
出席 福本、倉岡、中崎、日比野
欠席連絡(光本、井町)

1. 森の新聞
 - ・
 - ・野鳥研修会報告記事：小学校で教職員向け野鳥研修を行った内容の報告
 - ・探鳥会案内他
2. 中四国ブロッコ会の参加申込み
 - ・支部から7名参加。他支部の申込み状況も活発。
3. 広島市中央図書館企画展
 - ・企画展「野鳥に親しむ」9/7-27
 - ・会員の石井さん・上霜さんの写真、図書館所蔵資料、野鳥図書館からも貸出。
 - ・関連講座「身近で見られる広島の野鳥」として9月9日(日)(日比野)
 - ・同日午前中の支部広島城探鳥会の情報を参考にし、講座後半は広島城で観察会
 - ・野鳥の会活動資料として「森の新聞」と本部取り寄せ資料を展示コーナーに設置
4. 来年度総会講師
 - ・本部安西理事招聘、決定
 - ・総会、H25年1月13日(日)開催
5. 本部等からのアンケート等
 - ・支部探鳥会保険状況他：支部長から回答
 - ・サンバ繁殖状況調査：支部野鳥情報カード担当へ回状し対象あれば回答する。
 - ・サトリ野鳥保護基金 助成金応募書類
 - ・課題：野鳥図鑑(次年度)、年報(発行に向け継続協議)

★早くも、決定！

来年度 支部総会の講師は あの 安西英明氏！

支部連絡会で、平成25年度の支部総会を1月13日(日)に開催し、講演会の講師には、財団本部理事で主席研究員である安西英明氏をお招きすることが決定しました。
会場・開催時間は次号掲載予定です。是非是非ご参加ください。

西沖さん 木下さん
向田さん 中川さん
岡崎さん 安井さん
渡辺さん 森さん

※181号掲載の「新しい仲間」にお名前の間違がありました。

大変失礼しました。紙面にてお詫びし、訂正させていただきます。(光本)

(誤) 立木さん → (正) **立本さん**

★新聞が届かない場合は、早めにご連絡下さい。

★住所変更は支部・本部両方にご連絡下さい。(支部ですませたい方は「本部へ連絡を」と注記を)

★継続会費納入が4か月滞ると、会報の発送が止まります。

GATHERING CALL ～ 編集後記

■今号の表紙は「オバシギ幼鳥」です。

- 秋、冬、野鳥のシーズン、人も鳥も自然のなかで生きていることを実感できるシーズン。(日比野)
- 木曾御嶽で、賑やかに囀り飛びまわるかぐりや砂浴びするライチョウに出会いました。(石川)
- せまりくる更年期障害。人生の先輩は「気にしないこと」。若いスタッフは「鳥見してれば?」とのアドバイス。そうかも。(酒井)

▽▽ 事務所と野鳥図書館 ▽▽

開館時間 土曜・日曜

14時～18時

- * 右記の担当は替わることがあります。また、当番の急な事情で開館できないこともありますので、できれば電話でお確かめ下さい。
- * 電話での直接対応は開館時間内しかできません。留守電・FAXはありますのでご利用下さい。
- * 次回「森の新聞」の作業予定は

10月14日(日) 原稿締切日

担当: 光本

事務所当番

(9月)

1(土)		2(日)	
8(土)		9(日)	
15(土)	図書館部	16(日)	
22(土)		23(日)	休館日
29(土)		30(日)	休館日

(10月)

6(土)		7(日)	図書館部
13(土)		14(日)	休館日
20(土)		21(日)	
27(土)		28(日)	休館日

日本野鳥の会広島県支部 & 野鳥図書館

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目9-3 小田ビル 1F

TEL/FAX 082-233-7304

http://homepage3.nifty.com/wbsj_hiroshima/index.html

